



国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

会長 古田 和彦
副会長 秋元 美晴
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) 利根川 恵子 (川越)

“Be the light for change”

「変革のための光となろう」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 立花 明美

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Instil Confidence in our Youth”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

湘南・沖縄部部長 (DG) 黒川 勝 (金沢八景)

「初心に帰り、新たな船出を踏み出そう」

副題：「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」

<今月の聖句>

押川沢江

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる」

(ルカによる福音書2章8-10節)

今月のひとこと

アドベントを迎えて

田口 努

アドベントを迎え、日曜学校やキリスト教主義の学校や幼稚園、保育園では聖誕劇 (ページェント) の準備が始まる時期となりました。子どもたちは、聖書の言葉からなるセリフを覚え、登場人物の役を決め練習をしていきます。今年は、キリスト教の同じ流れの信仰を



もつロシア、ウクライナの戦争が続き、また、聖誕劇の中に出てくるイスラエルやエルサレムの地名や人々が悲惨なニュースとして報じられる中、生徒や子どもたちになぜ戦争や紛争が続いているのか説明がつかない思いであり、今年のクリスマスはとても喜べないような雰囲気でも揺らぎます。牧師や先生、保育士などは、聖誕劇のお話や説明の中で、聖地での戦争に触れることの多い年だと思えます。しかしイエスの聖誕物語は、寒い夜に難民として臨月を迎えたマリアが、宿には泊まれず、家畜小屋でイエスが生まれたことを思うと、史上最多となった現代の難民の姿とも重なって、最も弱くされた人々に希望をもたらす物語であり、聖誕の意味を改めて考えるクリスマスだと思っています。かつて私は保育園の園長をしていた時に、「3人の博士がイエス様にプレゼントを渡したのが、クリスマスプレゼントの始まりですよ。」と伝えていました。聞いていた子どもが驚いて、「イエス様の誕生日プレゼントなの？今は自分たちがプレゼントをもらう日だよ。不思議だね。」という声が出ました。保育士は、「イエス様の誕

<今月の聖句>ショートメッセージ

ここでの天使は単数形です。この天使は空中に浮かんだ状態ではなく、羊飼いと同一目線に立ち面と向かって大切なことを告げたと思われます。上からの目線ではなかったので、羊飼い達の心に救い主の誕生の大きな喜びが深く届いたのではないのでしょうか。何よりも救い主イエスキさまが、最も貧しところ、低いところにお生まれくださったお方だからです。

生日なのに、みんながプレゼントを貰うってどういうことだと思っただけか？」と問いかけました。ある子が「イエス様ってさ、自分が喜ぶより、みんなが喜ぶことが好きなんだよ。だから、本当はイエス様に渡すような大切なプレゼントを、みんなにプレゼントして、みんなが喜ぶことを喜んでくれているじゃない」と言いました。子どもたちは、なんとなく納得したような雰囲気になりました。保育士も「イエス様のように、みんなもプレゼントをもらうだけでなく、誰かを喜ばせるようになるようなことをしましょうってことかもね。ページェントも他のお友達や、お母さんやお父さんに喜んでもらうプレゼントかもね。」と言いました。それを聞いた子どもたちは張り切ってページェントの準備をし、自分がもらうだけでなく、誰か喜ばせようと考えてようになりました。そのような話をその後、園便りに書いて、「自分の子どもへのプレゼントだけでなく、もう一つ、自分の子にあげるような思いで、戦争、紛争、飢饉などの困難にある人々や子どものために送ってみませんか。」と国際協力募金のアピールをしました。その時のクリスマス会での献金は、子どもたちのための小銭と、保護者、職員の封筒入りの献金でたくさん集まり、いつもの年をはるかに超える多額の献金（国際協力募金）があったことを思い出しました。今年もページェントの準備をする中で、喜びを分かち合うような成長を遂げている子どもたちの姿が思い浮かびます。世界は分断し、命を奪いあう中にありますが、未来を担う子どもたちには、喜びを分かち合う経験を豊かにしてもらい、そこから悲しみを分かち合う心が育ってほしいとクリスマスに切に願いたいと思います。

<11月第一例会報告>

大高 治

日時 ; 11月9日(木) 18:30~20:30
 場所 ; 横浜中央YMCA 806号室 ZOOM
 出席者 ; 秋元、大高、古賀、立花、古田、斎藤 (ZOOM)
 ゲスト ; 卓話者 (田中陽菜、福島諒大、皆川華穂 敬称略)

対面での月例会が今月も開けました。喜ばしく思います。司会は大高ワイズが担当。

- 1, 開会点鐘および挨拶 ; 古田会長
- 2, ワイズソング・ワイズの信条 ; 全員
- 3, 今月の聖句と祈り ; 古賀ワイズ
 <申命記8章3節>の朗読に続き「ウクライナ、イスラエルで戦闘が続き、苦しい時代ではありますが、知恵と勇気を他人のために活かして行きたい」と述べた。
- 4, ゲストの紹介 ; 古田会長が、卓話をして下さる3名を紹介された。
 - ・田中晴菜 ; YMCA 横浜の引率リーダーで、YMCA 山手台センター所属、シンクロのリーダーから水泳の指導へ。
 - ・福島諒大 ; 湘南戸塚YMCA 所属、大学2年生。ラクビー、器械体操指導へと進んだ。
 - ・皆川華穂 ; 湘南戸塚YMCA 所属、大学1年生。シンクロのリーダーから水泳の指導へ。
- 5, 卓話 ; 「YVLF」35回 Youth Volunteers Leaders Forum の報告

フォーラムの概要

日程 ; 23年9月29日(金)~10月1日(日)の3日間
 会場 ; 東京YMCAの山中湖センター
 テーマ; 私たちにとっての「みつける つながる よくなる」

主催 ; ワイズメンズクラブ東日本区

主幹 ; 東京YMCA

参加者; 北海道から山梨県の東日本の11カ所から31名、カウンセラーリーダー5名、引率スタッフ1名、事務局4名の合計41名の他、ワイズメンズが参加。大がかりなフォーラムでした。従って2人の報告も詳細に渡っており、ここに全部を紹介出来ません。Power Point に従って、何をされたか及び卓話者2人の感想を報告致します。

取り組み

本フォーラムの命題である「みつける。つながる、よくなる。」について意見を出し合い、まとめ上げる「グループタイム」から「グループ発表」に至るよう工夫され、手順よく進められたことが伺われた。その中にリーダー養成のプログラムは気付かれないように組み込まれていたようで、素晴らしいことと思います。それらの内容に代えて主に取り組みの手順を記すことにします。

- ① 事前研修、②バス移動、③アイスブレイク
- ④ 基調講演、⑤水上アクティビティ、⑥2日目の昼食; ワイズメンと一緒に、諸々の話を伺うことが出来た。
- ⑦ グループタイム

<2023年11月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
12名	メン 6名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0名 ゲスト 3名 合計 9名	67% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

<12月の行事予定>

キリスト教理解・IBC

日	曜	時間	行事内容	場所
5	火	19:00	第100回 Y-Ys 協議会	とつかY
14	木	14:00	横浜クラブ第一例会	中央Y
16	土	10:00	横浜YMCA クリスマス礼拝	横浜指路教会

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

- ・グループ毎に本題の「みつかる。つながる。よくなっていく。」について意見交換。
- ・グループの答えを出すこと。限られた時間のなかで多くの意見をまとめることは簡単ではなかったが、有意義な時間であった。
- ⑧ キャンプファイヤー、⑨ 聖日礼拝
- ⑩ グループ発表・みつかる、つながるの先に、よくなっていくがあり、よくなったことにより、より新たな視点からの新しいみつかるが、三角形の相互関係となり、一方通行ではなくそれぞれが関係していく。
- ・様々な価値観があることをみつけ、人のつながりによって互いに認め合い、一人一人が自信を持つことで、よりよくなっていく。
- ・各グループから様々な結論が出され、発表の形態も様々であった。
- ・東日本区の各地域から参加しているので、人との関わりから得た気づきを日本地図上のパズルにはめていく発表。また、自分と他人の関わりを劇で発表した個性豊かなグループも。

参加者の感想

1. 湘南とつかYMCAの皆川リーダー

あつという間の3日間でしたが、参加して良かった。メンバーはそれぞれお互いの意見や考えを繋ぎ合わせて一つの形に出来た。リーダー活動上で大切にしたい目標に少しでも近づけるよう頑張り達成出来た。リーダーとして活動する目標が出来た。優しい人たち、多くの人たちに支えられて過ごせたことに感謝します。

2. 湘南とつかYMCAの福島リーダー

多くの価値観に触れ、新たな気づきがあった。全員を巻き込むグループ活動の方法を学べた。様々な地域の方から異なる見方を持つメンバーたちのグループワークで、自分とは違った見方でテーマを考えることが出来た。

田中引率リーダーの挨拶

ワイズの皆さまには、各地から応募して来たユースリーダー達を温かく見守り、レクリエーション等にも参加して頂き、談笑しながら、付かず離れずの距離感で寄り添っていただきました。ユースリーダー達も私自身もこんなに温かく素敵な方々のご支援を肌で感じ、とても心強く思いました。今回の研修で得た学びを、参加したユースリーダー達はきっとそれぞれの現場で発揮していくことと期待しております。今後もこの若い力を見守り、共に支えて頂ければ幸いです。

あとがき

1. 東日本区の山田浩平理事は、「ワイズの運動に変化を」と、ユースを育成するYVLFの大切さを強調しています。当クラブの古田会長も同様、ユースのエンパワメントが大事との発想から、今日の卓話に至りました。人生にとっての勇気づけになり、フォーラムに参加し発表することは、これからの人生の糧になります。今回の経験を活かして下さい。

2. 当クラブは昨年「ユース負担金」として20,000円を献金しました。今年度も同額の献金を予定しています。

ビジネス

① 行事予定の確認 ② 協議・報告事項

閉会点鐘 古田会長

「横浜中央 YMCA ウェルカムフェスタ報告」

古田和彦

中央 YMCA ウェルカムフェスタが11月23日(木・祝)久しぶりに、全館を挙げて開催されました。昨年は、コロナ感染症がやや収まったため地下鉄関内駅近くの空き地を利用して開催する予定でしたが、あいにくの天候のため、こじんまりと中央 YMCA の1階ロビーで行われましたので、全館挙げて、すべての部門が本格的に開催するのは、2019年以来となりました。

わがクラブは、従来通り、バザーの担当です。前日の22日(水)、会場準備、値付け作業のため、14:00に606教室に集合、机で売り物を載せる台をまず整え、集められた寄贈品を仕分けし、値付けを行いました。寄贈品は例年より少ない感じでしたが、18時までかけて、丁寧に、仕訳・値段付けを行いました。



<22日の仕訳、値付け作業風景>

23日、10時開始ですので、9:30に集合、持ち場など再確認して開始に望みました。10時、一挙に大勢の来場者があり、1時間ほど天手古舞で販売しました。その後は、ポチポチ、物品も少なくなってきましたが、残りをよく見直して、山盛りの物品の中から、めぼしいものを見つけ出し、再値付けをして販売に努めました。売上目標を開始前は10万円としましたが、ほぼ主要物品が売り終わった時点でまだ3万円ほどだったので、目標額を5万円に修正、丁寧な物品の見直しの成果があり、最終的には64,450円となりました。

14:00終了して、残りの物品をまとめ、搬出。さらに、今年、15:30体育館に集合し、すべての部門の活動・売上げ報告会がありました。部門としては、わがワイズの売上げが一番でした。

今年、私たちワイズの外にスタッフ等の手伝いはなく、22日には、留学生のラグールさん、23日は同じく、外国人留学生の3名が応援してくれました。開催の際、昼休みは交代で取り、留学生が売っている水餃子やホットドックを食べたり、ほかの活動を見たりしました。何処も元気に楽しんで活動していました。

参加のワイズメンは、両日とも、秋元、大高メン・メネ、古賀メン・メネ、古田メン・メネでした。気持ちの良い秋晴れの2日間、爽やかな汗を流した楽しいひと時でした。



<23日当日バザー会場風景>

『湘南・沖縄部 第27回 部大会報告』

古賀健一郎

第27回湘南・沖縄部 部大会は、10月25日(土)14時~16時 会場 湘南とつかYMCA・オンライン (ZOOM併用)にて、3部構成にて開催された。

【第一部】講演 14:00~15:00

「ウクライナおよびウクライナからの避難民への支援活動」

① 講師紹介：黒川勝湘南・沖縄部部长

本講演「ウクライナおよびウクライナからの避難民への支援活動」では、オデーサ出身のコヴァリエヴスカ ナタリアさんが講師として招かれた。彼女は、横浜市国際局でウクライナ支援コーディネーターを務めている。この講演は、黒川勝湘南・沖縄部部长の尽力により実現した。黒川部部长は、横浜市国際交流協会のウクライナカフェ「ドゥルーズィ」を訪問し、ナタリアさんから詳細な説明を受けた。この経験を基に、今回の部大会で横浜市とウクライナ、特にオデーサとの関係や現状についての講演を依頼し、ナタリアさんは快諾された。

② 講演内容

講師：コヴァリエヴスカ ナタリアさん



略歴：オデーサ国立経済大学卒業後、会計および新規プロジェクト管理に従事。10年前に日本へ来日し、現在は横浜市国際局でウクライナ支援コーディネーターとして活動。

職務内容：ウクライナ現地情報の横浜市への報告、両国メディア対応、避難民支援、横浜市とウクライナ大使館間の連絡・調整、

交流カフェ「ドゥルーズィ」とウクライナ支援団体との連携など。

講演では、これらの職務内容に基づく映像資料を交えた説明が行われた。

★ 横浜市とオデーサ市は 1965 年から姉妹都市関係にあり、過去には東日本大震災時にオデーサ市が横浜市を通じて被災地に寄付した。2021 年には廃棄物管理や上下水道分野での技術協力プロジェクトが始まった。しかし、2022 年 2 月のロシアによるウクライナ侵攻直後、横浜市長は非難声明を発表し、市庁舎と全区役所に募金箱を設置した。YMCA は避難民の日本での生活開始を支援した。

横浜市は「オール横浜支援パッケージ」を設立し、現在横浜

市内には 77 世帯 127 人のウクライナ避難民が滞在している。
★ 交流カフェ「ドゥルーズィ」（友達を意味する）は、避難民同士、また横浜市在住のウクライナ人との交流の場として機能しており、就職説明会、個別面談、支援相談窓口を提供する。また、日本語学習のサポートも行っている。

★ 横浜市は緊急支援として移動式浄水装置をオデーサ市に提供した。これにより、水道施設が停止した場合でも市民の飲料水の確保が可能になる。加えて、厳しい冬に備えて防寒服なども提供した。

★ 講演中、ウクライナからの感謝のビデオメッセージ「横浜市の皆さん、深く感謝しています」が会場で視聴された。

★ 今年 3 月、オデーサ市長が来日し、横浜市とオデーサ市は復興・復旧を目的とした技術協力に関する覚書を締結した。これにより、さらなる支援に向けた協議が進行中である。

★ ウクライナ市民からの声として、8 月 14 日にロシア軍による大規模なミサイル攻撃があったこと、その影響で銀行、幼稚園などが被害を受けたこと、最近では発電所への攻撃があり、今年の冬に電気や水が使えなくなることへの大きな不安が伝えられた。

★ ウクライナの子どもたちからの声として、空襲警報による勉強の中断、電気が使えない間に勉強しなければならない状況、歴史的な建物や教会、幼稚園などへの攻撃による心の傷が語られた。



【第二部】部大会 15:00~15:30

開会点鐘・挨拶 黒川勝部長

聖書朗読(マタイによる福音書 24 章 32~44 節)

・祈祷 阿部正伴部担当主事

・ワイズソング・ワイズの信条

（来賓挨拶）

《佐竹総主事より》

『私たちが今日直面している平和への脅威に思いを馳せつつ、YMCA は「平和を作り出す人は幸いである」という聖句を胸に、現代を生きる人々、そして未来を担う子どもたちへ、平和という重要なメッセージを広く伝えていきたい。2024 年に迎える横浜 YMCA の 140 周年は、YMCA 会員の方々の献身的な支援と協力の賜物である。ワイズメンズクラブとして、YMCA の理念を共有し、未来に向けてその組織を共に育てていくことに力を注ぎたいと思う。

また、横浜 YMCA と湘南・沖縄部の間で行われる「YMCA-Y's 協議会」も次回で 100 回目を迎える。これまでの協議は、両者の相互理解と協力の結果であり、私たちはこの伝統を引き継ぎ、共に成長しながら平和の創造に努めていきたいと考える。今後も皆様のご支援とご協力を心よりお願いしたい。』

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

《山田公平東日本区理事より》

『世界はミャンマー、ウクライナ、パレスチナの問題に直面しており、平和が脅かされ続けています。私たちはこれらの問題について考え、募金や様々な活動を通じて貢献してきました。しかし、状況は絶えず変化しており、私たちの対応も変わらざるを得ない。ワイズメンズクラブとして、どのように進むべきかを常に問い直す必要がある。

今日の部大会での議論、特にウクライナとそこからの避難民への支援活動に関する話は、私たちにとって重要な課題である。このような議論は、私たちが自らの活動を見直し、より良い方向に進むための重要な機会を提供してくれた。

この部大会が湘南・沖縄部の活動をさらに充実させるきっかけとなることを願っている。特に、これからのミュージカルは、ワイズ運動に新しい考え方をもたらし、私たちに新たな気づきを与える機会となるでしょう。皆様の積極的な参加と支援をお願いしたい。

《参加者紹介があった》

《第27回東日本区大会 十勝・帯広市大会（2024年6月1日）のアピールがあった》



【第三部】アトラクション 15:30~15:45

① 紹介：小松仲史湘南・沖縄部直前部長

★ 湘南・沖縄部では新しいクラブ創設の一環として、青少年のための居場所づくりを目的にミュージカルに基づく活動を開始した。これは、ミュージカルの本場ニューヨークで活躍していた竹田美奈子さんを中心に、同じ志を持つ有志によって進められている。

★ 竹田美奈子さんは、ニューヨークで中学生や高校生を対象にミュージカルを通じた教育活動を行っていた。特に、学校に通いづらい環境にある子どもたちや、特別な支援が必要な子どもたちを対象に、彼らが世界へ羽ばたくためのサポートをしていた。この活動はYMCAの理念にも通じるもので、今回のプロジェクトに結びついた。

② 横浜クリエイティブアーツによるミニミュージカル

★ 竹田美奈子さんのメッセージ

『通常2時間半の演目を、今回は時間の制約上、短縮バージョンでお届けする。しかし、私たちが伝えたいエッセンスはしっかりと含まれているので、楽しんでいただければと思う。』

★ 演目は「ディア・エバン・ハンセン」。制作・ピアノ・監督は竹田美奈子さんが務め、演者には居林有里、田中怜緒直、十市浩司、小田切良樹、麻田耀子、鈴木杏菜、鈴木里音が名を連ねます。パーカッションは斉木駿、ギターは平林慶伸、PAは後藤洋平が担当する。

★この演目は、青少年の孤独感やアイデンティティの探求を

描いた現代のミュージカル。主人公のエヴァン・ハンセンは、高校生である彼の葛藤と、偶発的な嘘が引き起こす予期せぬ出来事を通じて、人々とのつながりの重要性を学ぶ。青少年が経験する共通の問題を表現することで、異文化間の共感と理解を促進し、多様性と異なる視点を尊重するメッセージも含まれており、国際交流のための良い枠組みを提供している。



【最後に】

上記の三部構成にて、湘南・沖縄部大会は無事に幕を閉じました。この大会は、深い洞察を提供する講演、創造的なアイデアの共有、そして心を動かすアトラクションで満たされた有意義な時間となりました。私たちは、今回の大会で得られた学びと経験を活かし、今後の活動に積極的に取り組んでいく所存です。参加者の皆様の貴重な意見とサポートに感謝いたします。

(横浜クラブ参加者) 現地：古賀、古田 Zoom：齋藤、佐竹

「第2回部評議会報告」

秋元 美晴

1. 開催日時・場所
2023年11月25日(土) 16:15~17:25 於：横浜とつかYMCA1階ホール
2. 委任状を含め過半数の出席により成立(辻監事も出席)
3. 全体司会は部書記の古田和彦ワイズ(横浜)、議事の議長は黒川部長
4. 議案とその採決結果
 - 1) 第1号議案 「湘南・沖縄部と横浜YMCA合同新年会について」(承認)
 - 2) 第2号議案 「次期の次期部長選考について」(取り下げ) 黒川部長から第2号議案提案書に基づき、次期部長候補者の決定ができていないので、部長の責任で選考作業を進め、その決定等は、部長に一任してほしいと提案された。しかし、会場から次期部長候補者の選考は、部則4条、部則施行細則2に基づき、「次期部長選考委員会」の協議を経て提案されるべきであるとの指摘があったため、本議案は取り下げられた。
※追記：閉会后、次期部長選考委員会を行い、立候補者、推薦者がいないことが確認され、部細則2(3)の輪番制による候補者選考を進めることと決定した。(古田部書記より)
 - 3) 第3号議案 「新クラブ設立準備委員会の設置について」(一部修正のうえ承認) 新クラブ設立準備委員会

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

を設置し、委員長には小松仲史ワイズ、委員には部長、書記、会員増強事業主査、各クラブ会長またはその代理者とすることに決定した。

5. 報告・連絡

1) 部長報告 書面と口頭で報告された。

2) 事業主査報告

地域奉仕・Yサ：ノルディックウォーキングを2024年3月に行う予定。

会員増強：新クラブ設立に向け取り組んでいる。

国際・交流：区レベルの会議に出席し、情報を収集。

ユース：9/29～10/1開催のYVLFに横浜YMCAから6名が参加。ユースアクション事業に適切な活動があれば、応募募集。

3) Y-Ys協議会への提案事項

若木ワイズから、Y-Ys協議会の組織・合理化・省力化のための提案が書面で示され、Y-Ys協議会で協議することになった。

4) 各クラブから活動報告あり。

5) YMCA報告

10/14 チャリティーラン支援の感謝

2月のピンクシャツデーのシャツ購入の依頼

12/5 Y-Ys協議会参加要請

12/16 横浜YMCAクリスマス礼拝(横浜指路教会)の案内

辻監事より講評あり。

(横浜クラブからの参加者) 秋元、大高、古賀、古田

熱海ワイズメンズクラブ創立60周年記念式典参加報告

古田和彦

わが横浜クラブの最初の子クラブ、熱海ワイズメンズクラブはこの12月15日で60周年を迎えます。熱海クラブは、静岡県に多くのワイズメンズクラブを輩出し、また、その中から熱海YMCA(静岡YMCAと名称変更)を生み出したクラブです。その創立60周年記念式典が11月26日(日)13:30から、熱海後楽園ホテルで開催されました。

第1部は式典。開会点鐘、司会者の開会挨拶、台湾・フィリピン、日本の国歌斉唱、ワイズソング、ワイズの信条、会長挨拶に続き、来賓の紹介と挨拶、熱海市長、熱海市教育長、衆・参国會議員、静岡YMCA理事長、ワイズ東日本区理事などが紹介され、それぞれ祝辞を述べました。次いで、IBCとして参加されている、台湾・台中クラブ、フィリピン・マニラダウンタウンクラブ、DBCの、京都パレスクラブ、東京グリーンクラブが紹介されました。その後、東日本区理事などの立ち合いの下、照木豊さんの入会式が厳かに執り行われました。続いて、メモリアルアワー、この10年間に天に召された8名の方々でした。その中には、元横浜クラブ会員で熱海クラブ創設に尽力された竹内敏郎さんも含まれていました。閉会の言葉、点鐘で第1部は終了しました。

第2部は記念事業。一つは、放課後児童クラブへの活動資金贈呈です。もう一つは、『ありがとう』作文コンクールで、こちらは、表彰と受賞作の発表がありました。2名の小学生、2名の中学生が表彰され、作文を発表しました。その後、全員で記念撮影をしました。

第3部懇親会。湘南・沖縄部から参加の小松仲史ワイズ(厚木)と新クラブ設立準備中の竹田美奈子さん、久保勝昭ワイズ(横浜つるみ)と同テーブルになり、気心の知れた方たちと楽しく懇親のひと時を持ちました。キッズダンス、芸妓踊り、熱海クラブの歌斉唱、木遣り等次々と出し物が披露され、あっという間に時間がたち、18:25閉会となりました。

メンバー数が40名になるとする勢いのある熱海ワイズ、IBCの台中から18名、マニラから8名、DBCの京都パレスから20名、東京グリーンから2名の参加、富士山部はじめ全国からの参加者があり、総勢188名の方々が集まり、盛大に、華々しく60周年を祝いました。

第二例会報告

古賀健一郎

日時：11月22日(水)16:00～16:20(横浜中央YMCA)

出席者：秋元、大高、古賀、立花、古田

《今後の行事予定》

確認した。

《協議・報告事項》

(1) 11/23(祝・木)横浜中央YMCA ウェルカムフェスタへの対応 参加予定者：秋元、大高メン・メネ、古賀メン・メネ、古田メン・メネ

11/23 10:00～15:00 中央Yで実施 各部門・留學生(水餃子)の参加など多数 *ワイズはバザーの売り子担当

(2) 11月第2例会

11/22(水)バザー準備作業後実施した。

(3) 11/25(土)14:00～16:00 部大会 於：湘南とつかYMCA ウクライナ人で横浜市の国際協力にいるナタリアさんの講演。参加予定 現地：古賀、古田 Zoom：齋藤、佐竹

(4) 11/25(土)16:00～18:00 部第2回評議会 於：湘南とつかYMCA 会長・副会長・書記・会計が参加

(5) 12月例会・1月例会

12/14(木)14:30～18:00 横浜中央YMCA各部門を訪問 14:30中央Y8階に集合(予定)14:35 グローバルキンダーガーデン、15:00 国際情報ビジネス科 15:30 学童、体育館 16:00から外 AIDS市民活動センター16:30のんびりんこ 17:00 戻って、事務会 18:00 終了 *各部門との調整によっては一部変更があるかもしれない。

(6) 1月例会は、合同新年会を第1例会とする。

(7) ブリテン12月号編集計画(配布済みの通り)

(8) 勧誘名刺の件：見積もり結果13500円、別紙内容による。

(9) その他

・横浜訓盲院、日本水上学園 クリスマスクッキー贈呈の件、昨年合計39200円 ・Y-Ys協議会参加の件
一以上一



担当主事 立花 明美

11月23日(祝・木)に横浜中央YMCAのウエルカムフェスタが行われました。学生、ボランティアリーダーやワイズの方々がそれぞれ役割を持ち、蚤の市や自作のゲームコーナーを作ったり、自国の料理を作って売りました。

- ・11月1日(水) 常盤町町内会清掃活動
- ・11月1日(水) こども食堂
- ・11月1日(水)～2日(木)1-3級職員宿泊研修B(富士山YMCA)
- ・11月6日(月)～7日(火)4級職員宿泊研修A(富士山YMCA)
- ・11月8日(水)～7日(火)4級職員宿泊研修B(富士山YMCA)
- ・11月8日(水)日本語学科上級クラス生が子安小学校を訪問し、4年生と6年生と交流
- ・11月14日(火)～15日(水)関東学院大学看護学部3年生実習受入れ @のんびりんこ
- ・11月18日(土)YMCA・YWCA 合同祈祷会
- ・11月23日(木)横浜中央YMCA ウエルカムフェスタ
- ・11月26日(日)ファミリーバスケ/街頭募金

12月1日～7日まで人権週間で、全職員が人権について学ぶ期間としています。また冬期講習会やスキーキャンプ、専門学校生はインターン実習など、各事業の行事があります。

12月5日にはY-Y's協議会が湘南とつかYMCAにて実施されます。また12月16日は、横浜YMCAクリスマス礼拝が横浜指路教会にて行われます。

1月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
13	土	17:00	YMCA ワイズ合同新年会 兼 横浜クラブ第一例会	廣東飯店
25	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花 明美にご連絡下さい。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080

12月例会プログラム

日時：12月14日(木) 14:00～18:00

場所：中央Y

司会 古賀健一郎

1. 中央Y各部門見学
2. 開会点鐘および挨拶..... 古田会長
3. ワイズソング・ワイズの信条..... 全員
4. 今月の聖句..... 押川メネット
5. ゲスト・ビジター紹介..... 古田会長
6. ビジネス・報告..... 古田会長
7. **Happy Birthday**
古田伽知子 (13) 立花明美 (23)
8. 閉会点鐘..... 古田会長

例会報告：古賀ワイズ

